

南山大学大学院 入学試験問題集

人間文化研究科
言語科学専攻

2024年度

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

《博士前期課程》

英文資料を基に解答する科目	1
〔国内在住外国人入学審査〕	6
専門領域に関する論述試験	9
小論文	11
〔社会人入学審査〕	11
〔国内在住外国人入学審査〕	12

2023年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2023年9月入学)

2024年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2024年4月入学)

＜博士前期課程＞一般入学試験

(2023年7月8日実施)

試験科目：英文資料を基に解答する科目

配点：50点

次の英文を読んで、後の設問に答えなさい。

次頁記載出典の内容を掲載しています。

2023年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2023年9月入学)
2024年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2024年4月入学)
＜博士前期課程＞一般入学試験

(2023年7月8日実施)

試験科目：英文資料を基に解答する科目

配点：50点

下記出典の内容を掲載しています。

出典: Used with permission of John Wiley & Sons – Books from The Handbook of Asian Englishes 2020; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

以下の設問に答えなさい。いずれの設問においても、単なる和訳ではなく、文章の内容を理解した上での説明を求めていることに注意すること。

- 問1 下線部 (A) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問2 下線部 (B) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問3 下線部 (C) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問4 下線部 (D) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問5 下線部 (E) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。

2024年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻(2024年4月入学)
2024年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻(2024年9月入学)
＜博士前期課程＞一般入学試験

(2024年2月24日実施)

試験科目：英文資料を基に解答する科目

配点：50点

次の英文を読んで、後の設問に答えなさい。

次頁記載出典の内容を掲載しています。

下記出典の内容を掲載しています。

出典：The Cambridge Handbook of World Englishes by Buschfeld, Sarah · Daniel Schreier, Marianne Hundt, & Edgar W. Schneider, Cambridge University Press, 2020, Reproduced with permission of the Licensor through PLSclear.

以下の設問に答えなさい。いずれの設問においても、単なる和訳ではなく、文章の内容を理解した上での説明を求めていることに注意すること。

- 問1 下線部 (A) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問2 下線部 (B) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問3 下線部 (C) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問4 下線部 (D) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問5 下線部 (E) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。

次の英文を読んで、後の設問に答えなさい。

次頁記載出典の内容を掲載しています。

2023年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2023年9月入学)

2024年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2024年4月入学)

<博士前期課程> 国内在住外国人入学審査

(2023年7月8日実施)

試験科目：英文資料を基に解答する科目

配点：50点

下記出典の内容を掲載しています。

出典： Used with permission of John Wiley & Sons – Books from The Handbook of Asian Englishes 2020; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

以下の設問に答えなさい。いずれの設問においても、単なる和訳ではなく、文章の内容を理解した上での説明を求めていることに注意すること。

- 問1 下線部 (A) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問2 下線部 (B) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問3 下線部 (C) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問4 下線部 (D) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。
- 問5 下線部 (E) の内容について、日本語でわかりやすく説明しなさい。

(問題紙)

用語問題

次の用語(a)～(j)の中から3つを選んで、それぞれについて説明しなさい(4つ以上の用語について説明しないこと)。なお、説明は必ず解答紙に記しなさい。また、(a)～(j)のどの用語を選択したかを解答紙にアルファベットで記すこと。

- (a) 他動性 (transitivity)
- (b) 言語相対論 (linguistic relativity/relativism)
- (c) 直示／ダイクシス (deixis)
- (d) 複言語主義 (plurilingualism)
- (e) Task-Based Language Teaching (TBLT)
- (f) multi-competence
- (g) negative evidence
- (h) working memory
- (i) form-function relationships
- (j) sociocultural theory

論述問題

次の(A)～(C)の中から1つを選んで、答えなさい(2つ以上の問題に答えないこと)。ただし、(C)については、英語で解答しなさい。なお、解答は必ず解答紙に記すこと。また、(A)～(C)のどの問題を選択したかを解答紙にアルファベットで記すこと。

- (A) 屈折 (inflection) と派生 (derivation) の区別について、あなたが研究対象とする言語を例にあげながら、あなたの考えを述べなさい。
- (B) 第二言語教育の授業において、目標言語だけを使用するべきかどうかについて、その理由とともに、あなたの意見を述べなさい。
- (C) What are the roles of input and output in second language acquisition?

(問 題 紙)

用語問題

次の用語(a)～(j)の中から3つを選んで、それぞれについて説明しなさい(4つ以上の用語について説明しないこと)。なお、説明は必ず解答紙に記すこと。また、(a)～(j)のどの用語を選択したかを解答紙にアルファベットで記すこと。

- (a) 過剰修正 (hypercorrection)
- (b) スキーマ (schema)
- (c) 能格性 (ergativity)
- (d) 言語イデオロギー (language ideology)
- (e) トランスランゲージング (translanguaging)
- (f) DLA (Dialogic Language Assessment for Japanese as a second language)
- (g) CALP と BICS
- (h) 芝山巖事件
- (i) アウトプット仮説 (output hypothesis)
- (j) 社会文化理論 (sociocultural theory)

論述問題

次の(A)～(D)の中から1つを選んで、答えなさい(2つ以上の問題に答えないこと)。ただし、(D)については、英語で解答しなさい。なお、解答は必ず解答紙に記すこと。また、(A)～(D)のどの問題を選択したかを解答紙にアルファベットで記すこと。

- (A) 多義語が生じる歴史的背景について、具体例を挙げながら説明をしなさい。
- (B) 臨界期仮説 (critical period hypothesis) とはどのような仮説で、どのようなエビデンスに基づく仮説なのかを説明し、その仮説の裏付けの妥当性について論じなさい。
- (C) 戦前の日本語教育における、山口喜一郎らの「直説法」と大出正篤の「速成式」について論じなさい。その際、「学習者」という用語を用いること。
- (D) A significant portion of language learning lesson time is spent on activities that involve interaction with peers. What research shows that interaction should be such a vital element in language teaching?

(問 題 紙)

次の問いに答えなさい。

直接法(目標言語のみを使って目標言語を教える方法)で第二言語としての英語や日本語の指導をする際、その理解を助けるために、視覚情報で文法や文構造を指導することがある。視覚情報で指導する具体的な方法を示した上で、そのメリットとデメリットにはどのようなものがあるか、あなたの考えを述べなさい。

(問題紙)

次の問題に答えなさい。解答は解答紙に日本語で書きなさい。ただし、言語学または英語教育を主たる研究領域とする志願者は、英語で書いてもよい。

(Answer the following question. Write your answer in Japanese on the answer sheet. However, those applicants who wish to major in Linguistics or English Education may write in English.)

問題 日本語は数多くの文末表現を持っており、それらはさまざまな役割を担っているとされる。日本語文末表現の例を少なくとも一つとりあげ、他の言語と対照しつつその役割について説明しなさい。

(The Japanese language is often described as containing numerous sentence-final expressions, which serve a variety of functions. Provide at least one such example and explain its functions, comparing Japanese with one or more languages of your choice.)

発行：南山大学入試課

名古屋市昭和区山里町18番地

Phone : (052)832-3119

F a x : (052)832-3592

E-mail : ml-grad@nanzan-u.ac.jp

URL : <https://www.nanzan-u.ac.jp/>